

相生山病院外来担当医師表

外来診療責任者 副院長 松浦 昭

診療時間	診察室	月	火	水	木	金	土
9:00 12:00	1診	渥 美	呼吸器科 加 藤	呼吸器科 加 藤	呼吸器科 山 口	奥 田	岩瀬・鈴木・奥田
	2診	【予約診療】 佐 藤(貴)	佐 藤(徹)	【予約診療】 佐 藤(貴)	松 浦	鈴 木	殿 村
	リハビリ科	佐久間	佐久間	倉 上	佐久間	倉 上	倉 上
	内視鏡		松 浦			松 浦	
17:00 19:00	夜外来	鈴 木	殿 村	鈴 木	【予約診療】 佐 藤(貴)	松 浦	

急患の方はいつでも診察いたします。

創立40周年記念パーティー

医療法人清水会の創立40周年を迎え、ANAクラウンプラザホテルグランコート名古屋にて記念パーティーを開催しました。職員410名、来賓130名の参加を頂いて、理事長の開会挨拶、事務局長の乾杯に始まり、勤続30年、40年の永年勤続者の表彰や弦楽四重奏、豪華賞品が当たるくじ引きなど、多彩な催し物に大変盛り上がり、最後は院長の結びの言葉と一本締めで清水会職員は一つになりました。



『健康になってちょ!』講演会のお知らせ

相生山病院では、皆様方のご健康を願い「健康になってちょ!」と題して健康教育講座を設けております。どうぞお気軽にご参加ください。

場 所 相生山病院5階会議室 開催日時 2ヶ月に1回(奇数月) 第2土曜日 午後3時～60分間

※都合により第2週以外になる場合があります。

平成28年1月23日 ●認知症にならないために ※1月は都合により第4土曜日に開催いたします。 院長 佐藤 貴久

平成28年3月12日 ●自宅でできるリハビリのすすめ ～肩の痛みと肩こりを軽くする方法～ リハビリテーション科課長 村瀬 政信

講座内容が変更になる場合があります。ご了承下さい。



相生山病院の理念

「まごころ」

相生山病院の基本方針

1. 医療の主人公は患者さまであることの自覚を深くし、当院が定めた患者さまの権利の擁護者として、患者さまと共に良い医療を目指します。
2. 地域の皆様のために医療・保健・福祉サービスにおいて精一杯貢献します。
3. 24時間対応の救急医療を実施します。
4. 病・診連携、病・病連携(他の病院や診療所との連携)を密に行い、患者さまに常にご安心とご満足頂けるあらゆるご要望にお応えします。



当病院においてお気付きの点がございましたら、お気軽に「ご意見箱」へお願いいたします。



相生山病院 ニュース

編集/医療法人 清水会 相生山病院広報委員会
名古屋市緑区藤塚三丁目2704番地 TEL(052)878-3711
<http://www.aioiyama.or.jp/>

2016
新春号
第42号

ご自由にお取りください。



新年のご挨拶

医療法人清水会 相生山病院院長 佐藤 貴久



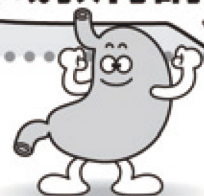
皆様、新年あけましておめでとうございます。相生山病院院長の佐藤貴久です。東海大地震が心配される中、本年も例年どおり無事に新年を迎えることができ、安心するとともに、平和な世の中を実感し、清々しさすら感じています。皆様におかれましては、昨年はどうの年になりましたか？世の中の動きとしては、昨年はアベノミクス効果による株価上昇、生産業を中心とした経済の回復傾向並びに失業率低下、安保関連法案成立、MRJの初飛行成功、日本のラグビーが脚光を浴びるなど、様々なジャンルから変化が期待される転機の年であったように思われます。今年もその流れは継承し、長い目で見れば、様々な

分野で節目の年にあたる一年になるのではないのでしょうか？

さて、我が医療法人清水会も昨年12月で設立40周年を迎えることができました。これもひとえに皆様のご支援とお力添えのおかげと深く感謝しております。また、医療法人清水会をこれまで引っ張って頂いた理事長、事務局長を始め、関係各位の皆様にも深謝するとともに、このご功績に対し心より尊敬の念を抱いております。相生山病院は2000年に名古屋市天白区相生山から、現在名古屋市緑区藤塚に引っ越してきました。引っ越し後、約15年が経過した今、相生山病院は本当に地域の皆様に貢献できているのか自問しているところです。そして、その問いに答えるためにも、今年を良い意味での転機の年にする必要がありと考えており、身の引き締まる思いです。

相生山病院は、急性期病棟と療養型病棟、及び在宅復帰を目指す地域包括ケア病床を兼ね備えており、24時間救急医療体制で、地域の皆様に安心していただける病院になることを目指しています。また、医療法人清水会は、今後益々問題となる介護を必要とする高齢の皆様の多様化する生活スタイルに対応できるように、種々の介護施設を充実させてまいりました。そこに入所・入居されている方の状態が万一悪化した場合には、当院が責任をもって対応し、安心・安全な生活を送っていただけるよう心がけてまいります。隣接する介護施設が多いため、入院患者様は高齢の方が多くも特徴ですが、高齢の患者様も安心して医療が受けられるよう、心からの優しい対応を心がけております。また、治療方針に関しては、患者様やご家族様のご希望の医療を提供できるよう努めております。更に、当院の自慢であるリハビリテーションを行うことにより、お元気と笑顔を取り戻して頂き、患者様自身が望まれている在宅復帰を、可能な限り目指して頂くように心がけております。少子高齢化が進み、団塊の世代の方々が75歳となる2025年に向け、社会保障問題が益々現実味を帯びてきました。そのような中、我々相生山病院は、患者様のことを第一に考える医療を提供し続けたいと考えています。そして、これからも相生山病院の理念である“まごころ”を感じていただけるような温かみのある病院であり続けることをお約束します。

最後になりましたが、本年が皆さまにとっても素晴らしい一年になり、飛躍の転機の年となりますことを心から願っております。本年も何卒宜しくお願いいたします。



「健康になっちゃよ」

平成27年9月12日(土)午後3時から、岩田和枝、小田静子臨床検査技師により「尿と便でわかる病気のサイン」と題して話され、私たちが毎日排泄している尿や便にはさまざまな病気の

情報が隠されていることを知りました。



平成27年11月14日(土)には、松浦 昭副院長により、健康に長生きするためには胃腸の働きがとても大切であることを「胃腸に気をつけて健康寿命をのばそう」と題して話されました。



大災害を想定した

防災訓練を実施しました



いつ起きても不思議ではないと言われています「東海大震災」を想定した防災訓練を、平成27年11月19日(木)に実施しました。午後2時に東海東南海連動地震が発生し、名古屋は震度7、緑区は震度6弱の現在想定されています中では最も大規模な地震という設定で行いました。

地震発生と同時に厨房から出火、全てのライフラインを止めて非常用電源に切り替わるかどうかを確認、負傷された入院患者様の治療、被災された地域住民の方の受入れとトリアージの実施など、困難な状況を設定し職員全員で取り組みました。緑消防署から4名、緑保健所から2名の見学を受け、熊の前学区住民の方々も5名参加して頂き、とても充実した実践的な訓練になりました。

